

# 設立趣旨書

---



**Ribinet**  
Quality Of Hair Life

特定非営利活動法人

**Ribinet**

*The future will surely be kinder.*

## 1. 設立の背景

私たち理美容師は、毎日のサロンワークを通じて多くの人々の笑顔に関わる仕事をしています。少子高齢化が進む社会において、病気・けが・加齢・障がいなどにより美容室に通えない方々や、抗がん剤治療などで頭髪を失った子どもたちへの支援も、理美容業界が担うべき大切な役割で、ヘアドネーション（髪の毛の寄付）を通じた子ども用医療ウィッグの制作・提供や、訪問理美容サービスの推進は、誰もが安心して美しくいられる社会の実現に不可欠な活動です。

また、業務に伴う廃棄物や環境負荷の問題からも目を背けることはできません。全国の理美容室で年間約2億4千万個使用されるヘアカラーチューブ（アルミチューブ+PP キャップ）は、その大部分がリサイクルされることなく廃棄されています。また、チューブ先端に残る約2グラムのカラー剤が残っていたことを加味すると、業界全体で年間約480トンもの薬剤が無駄になっています。これはCO<sub>2</sub>換算で約1,200トン、杉の木約8万6千本分の年間吸収量に相当する環境負荷になっております。

## 2. 活動の経緯

代表の戸塚貴博は、神奈川県川崎市において美容室「アルコバレーノ」を経営するかたわら、任意団体として2015年より使用済みヘアカラーチューブの回収・リサイクル活動を開始しました。周囲の理美容師仲間の協力を得ながら活動を拡大し、2018年度には年間回収量13トンを達成しました。

現在は、長野県松本市の株式会社カンノのご協力のもと、回収したアルミチューブを純度99.5%の高純度アルミ塊として再生加工する体制を構築しています。また、早稲田大学環境サークル「環境ロドリゲス」との連携により、カラーチューブのキャップ（ポリプロピレン）をアップサイクルしたコームの制作も実現しています。

ヘアドネーション活動においては、美容師仲間や全国の方々から髪の毛をお送りいただき、子ども用医療ウィッグを制作・提供する「スマイルプロジェクト」を実施しています。毎年8月には川崎市内でチャリティーカットイベントを開催し、多くの市民の共感と参加を得ています。

これらの活動を通じて仲間の輪が広がり、「美容を通じて、みんなが笑顔になれるやさしい日本をつくる」という理念に共感する理美容師ネットワーク「Ribinet」が誕生しました。

### 3. 法人設立の必要性

活動の拡大に伴い、ヘアドネーション事業から収益が生じるようになり、任意団体のままでは税務・法的な管理が困難であり、適切な組織運営のためにも法人格の取得が必要な段階を迎えました。

また、カラーチューブリサイクルの全国展開、カラーチューブを回収する西濃運輸との全国集荷ネットワーク構築、アルミニウム合金協会や関連企業との正式な協力関係の確立、さらには助成金・補助金の申請においても、NPO 法人格は不可欠とも考えます。

これらの理由から、活動をさらに発展させ、社会的責任のある形で事業を継続するために、特定非営利活動法人の設立を決意しました。

### 4. 設立の目的

特定非営利活動法人 Ribinet は、以下の事業を実施するために設立します。

- (1) 福祉・訪問理美容サービスの推進に関する事業
- (2) ヘアドネーションの収集・選別及び子ども用医療ウィッグの制作・提供に関する事業
- (3) 使用済み容器等の回収及びリサイクル・アップサイクル製品の開発・普及に関する事業
- (4) 理美容に関する知識・技術の普及啓発及び訪問理美容を志す理美容師の育成・支援に関する事業
- (5) 環境保全及び資源循環に関する啓発・教育事業
- (6) 理美容業界のサステナビリティ推進に関する調査・研究及び情報発信事業

以上の趣旨から、私たちは特定非営利活動法人 Ribinet を設立することとしました。

皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

2026年（令和8年）4月19日

法人の名称 特定非営利活動法人 Ribinet

設立代表者 戸塚 貴博